

紀州 語り部になりませんか



語り部へのお誘い

皆さん日々の余暇時間の過ごし方に満足されていますか？

故郷「和歌山県」の素晴らしい景色を多くの方に直接伝え、好きになって頂き、ひいては自分自身の『和歌山愛』を向上させる活動です。また、様々な方との出会いによって人脈が広がったり健康増進にも繋がるなど言うことなし。地域を共に歩く楽しい旅の案内人「紀州語り部」になってみませんか？

紀州語り部と保全活動「道普請」CSR(社会貢献)活動をサポート

道普請とは、参詣道の維持・補修活動のことを言います。人が歩いたり風雨で土が流されたりして傷んだ箇所を保全し、世界遺産を良好な状態で次世代に引き継ぐための取り組みです。語り部は道普請が必要と思われる箇所を発見するなど、日々の活動を通じて大きく貢献しています。



紀州語り部とSDGsとの繋がり

紀州語り部の活動は、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」等を未来へ繋ぎ、地域の歴史・文化を次世代へ引き継ぐことでもあります。日頃の活動を通してSDGs(持続可能な開発目標)にも貢献しています。



- 4 質の高い教育をみんなに** 和歌山県の歴史・文化・自然等の幅広い知識を学び、理解を深めることは**生涯学習**へと繋がる活動です。
- 5 ジェンダー平等を促進しよう** 地域において、性別や年齢を問わずに活躍できる、特に女性の語り部が育つことは、**ジェンダー平等**の促進に繋がります。
- 8 働きがいも経済成長も** リタイヤ世代はイキイキと活動して健康の促進に、現役世代は副業として報酬を得ることで**働きがい**を感じ、**経済成長**にも繋がります。
- 15 陸の豊かさも守ろう** 語り部事業で得た報酬の一部を「世界遺産の森林を守る基金」へ活用することで、**持続可能な形で森林管理**の実現に繋がります。

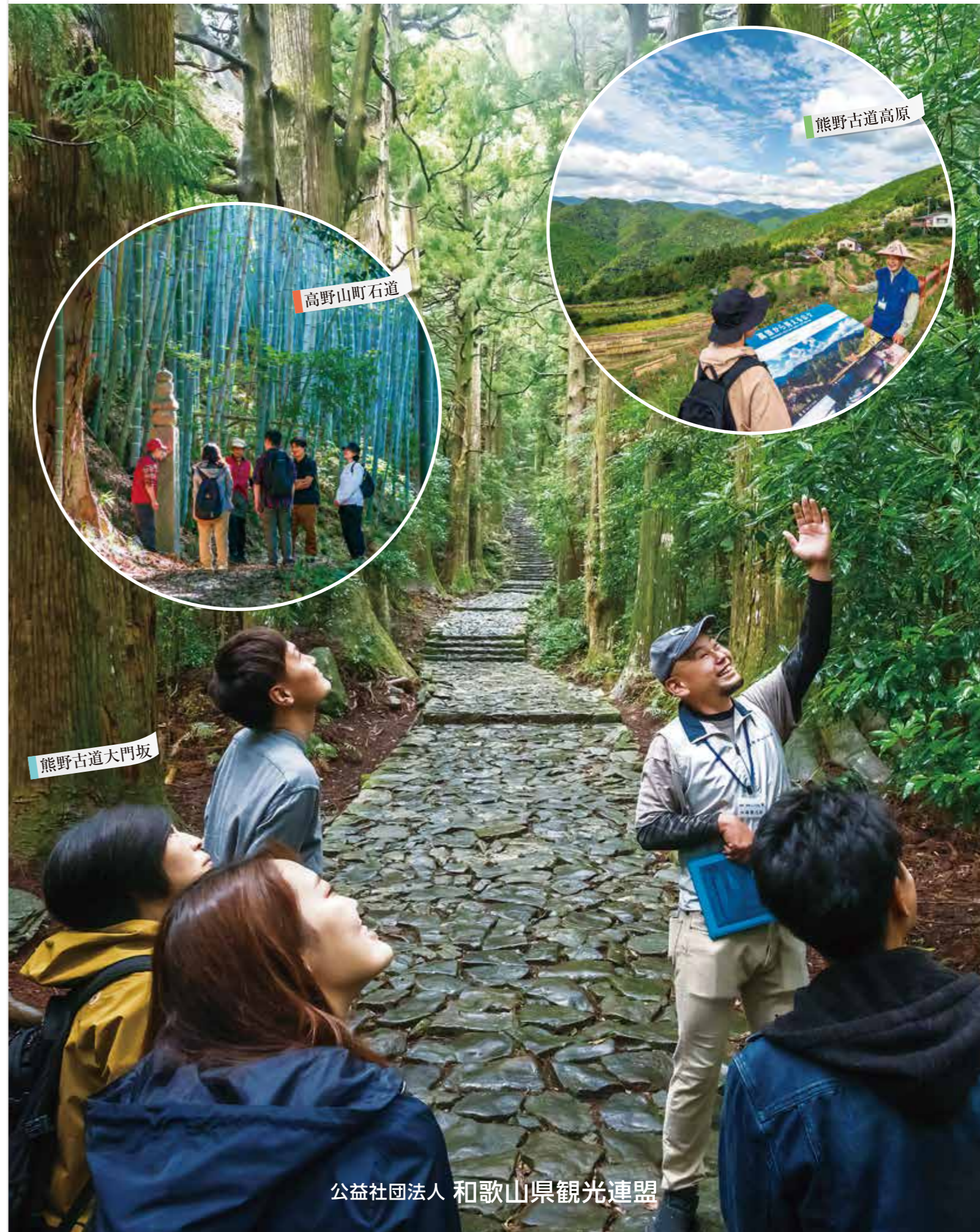
各地の紀州語り部

- 高野山町石道語り部の会
- 和歌山市語り部クラブ
- 観光ガイド和歌山
- 橋本観光ガイドの会
- 高野七口再生保存会
- 語り部の会 熊野古道 中辺路
- 田辺観光ボランティアガイドの会
- 熊野本宮語り部の会
- うた加楽衆
- 熊野三休語り部の会
- 熊野古道語り部の会
- (一社)和歌山地域通訳案内士会(英語ガイド)
- 古道語りべ・熊野赤リユック
- 熊野 百間溪谷自然学校
- Kumano Trek(英語ガイド)
- 熊野川川舟下り語り部の会
- 口熊野かみとんだガイドの会
- 熊野人倶楽部
- 大辺路長井坂クラブ
- 熊野古道大辺路刈り開き隊
- 熊野・那智ガイドの会
- 那智勝浦町観光ボランティアガイドの会



公益社団法人 和歌山県観光連盟

〒640-8585 和歌山市小松原通 1-1 TEL 073-422-4631 <http://www.wakayama-kanko.or.jp>



公益社団法人 和歌山県観光連盟



語り部の会 熊野古道 中辺路

「熊野古道愛好会」のようなもの…



安江 樹郎さん
(70代・語り部歴19年)

世界遺産登録の20年前、けして熊野古道に詳しくはありませんでした。しかし続けるうちに魅了され、気が付けば一人で紀伊半島中を歩くように。どんどん健康になり、そうして考えたコースは旅行社に採用されるまでになりました。私たちの会は、勉強会・ハイキング・お月見・忘年会などの行事がある「熊野古道愛好会」のようなもの。遊びながら学び、得た知識・経験で良い語り部が育つのだと考えています。



多くを学びました



山田 良憲さん
(40代・語り部歴3年)

「熊野を一番知っているのは語り部さんだ!」と感じ、語り部を志望しました。文献や史実だけでなく、実際の古道と照らし合わせ検証するのが楽しいのです。紀伊半島中にガイド友達ができ、歴史・宗教・郷土に詳しくなりました。事務局の仕事も兼任していて組織運営をIT化するなど効率化に努めています。地域が好きで、遊ぶことが好きな方、ぜひ一緒にしませんか。



熊野・那智ガイドの会

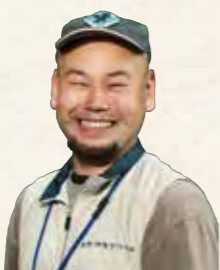
「一期一会」で毎日が楽しい



汐崎 真次さん
(70代・語り部歴9年)

お客さまから「この地域の歴史が良くわかった。楽しかった」と言ってもらえる事が一番の喜びです。質問に答えられない時は、後日調べてメールやお手紙でお返事することもあります。出逢いは「一期一会」。本当に毎日楽しく活動しています。語り部の仕事は難しいと思われがちですが、座学と実地研修もあり、日にちや時間などは融通が効くので、本業のお休みの間や空いた時間でも活動できます。

ライフスタイルに合わせた活動を



加藤 優志郎さん
(30代・語り部歴7か月)

もともと山や石碑が好きで山城の写真を撮ったり、散歩するのが趣味でした。地元が好きで色々知っているつもりでしたが、語り部の活動をしていくとまだまだ勉強になる事がいっぱいです。修学旅行の子ども達を案内するときは、「自分の地域の好きな所を見つけてね。」と言うようにしています。本業は夜勤のある仕事なので、夜勤明けの午後から語り部活動をしています。様々なライフスタイルに合わせて活動する事が出来ますよ!



高野山町石道語り部の会 石の卒塔婆に導かれ



松岡 敬周さん
(70代・語り部歴18年)

町石道はハイキングより少し山登りに近いトレッキングになります。私たち語り部は参加された方々を安全に送り届ける事も大切な仕事の一つです。町石道は慈尊院から高野山(壇上伽藍)まで約20kmの参詣道を1町(約109m)おきの石造卒塔婆が案内してくれます。語り部になってお客様と花や植物の話をしたり四季の移ろいを感じながら歩くのはとても楽しいです。すべてのコースを歩くのが大変な方でも、3回に分けて歩いていただくこともできます。



本業にも活かされています



河本 夏奈さん
(40代・語り部歴3年)

出身は伊勢志摩で高野山に憧れて和歌山県にやってきました。現在は宿坊で働きながら、余暇を活用しての活動です。高野山での仕事は事務とお寺の案内などもあり、語り部の活動は引き出しが多くなり、本業にも活かされています。町石道は長い山道だから大変かな?って思う方もいらっしゃると思いますが、エリアごとに区切ったコースもあり、経験や時間に合わせたウォークも計画できます。

とても気持ちの良い道です



丹生 英二さん
(50代・語り部歴10年)

農産物直売所の仕事の合間を縫って活動しています。町石道は半分は山登りですが、とても歩きやすく気持ちの良い道です。語り部は、自分の知識をただ話すだけでもダメだし、話し方や声の調子、対応など気を付ける事を多く学びました。自分だったら嫌だなと思うような対応をしないようにする事を心がけるようになりました。それが本業にも役立つようになりました。「来て良かった」と思ってもらえる語り部になりたいです。

紀州語り部について

紀州語り部とは

和歌山県の各地域の歴史・文化・自然等を伝えながら、安全で楽しい旅をお手伝いする案内人を和歌山県では「紀州語り部」と呼んでいます。「道歩きを楽しみたい」「地域の自然、歴史をもっと知りたい」「語り部の話を聞いて興味が湧いた」など、語り部になるきっかけはさまざまです。気が付けば語り部になっていたという方も多くいます。知識や経験がなくても、丁寧に座学や実地でお教えします。



Q「語り部」になるにはどこに連絡すればいいですか?

A まずは、(公社)和歌山県観光連盟にご連絡ください。県内各地域の語り部の会をご紹介します。

Q「語り部」にはどうしたらなれますか?

A 各地域の会で、マニュアルなどを用いて座学と先輩の語り部による実地研修を経て、経験を積んでいただいた後「語り部」として認定されます。

Q「語り部」の活動時間はどれぐらいですか?

A 短くて約2時間程度、長いコースで約8時間とさまざまです。家事の空いた時間や、本業の合間の副業として空いている時間を活用するなど、希望に沿った形で活動できます。

Q「語り部」の報酬は?

A 語り部は豊かで正確な知識を継承し、後進を育て安全な活動を行うために報酬制度を設けています。報酬額は活動時間や催行人数によって変わります。5,000円程度～数万円までとさまざまです。